

沖縄の基地の現状

米軍基地関係 → 辺野古新基地建設、高江のヘリパット建設、嘉手納のPAC3の配備、嘉手納基地の爆音増加、浦添への那覇軍港の移設、キャンプハンセンへの射撃場の増設、ホワイトビーチへの原潜の寄港が国内最多、米軍基地の強制使用の開始。

自衛隊関係について → 陸自の第一混成団の旅団化、那覇基地のF4戦闘機からF15戦闘機への配備換え、沖縄市への射撃訓練所の完成、与座岳へのミサイル防衛のレーダー配備、キャンプハンセン米軍と自衛隊の共同使用開始、下地島空港や与那国への自衛隊誘致の動きの活性化、宮古島への通信基地の建設。

沖縄が日米の対中国封じ込め、対テロ戦争の最前線基地として、基地機能強化が推し進められている。これに対し、辺野古をはじめ高江や浦添、普天間、嘉手納の爆音訴訟や宮古、与那国の住民の闘い、反戦地主の闘いが続いている。

米軍基地・自衛隊基地の再編・強化が進む状況のなかで、沖縄の現状の再認識し、首都圏で沖縄と連帯した闘いをさらに強めていくために講演会を開催します。

総会後の記念講演はどなたも参加できますので、お誘い合わせのうえ、多くの方の参加をお待ちしています。

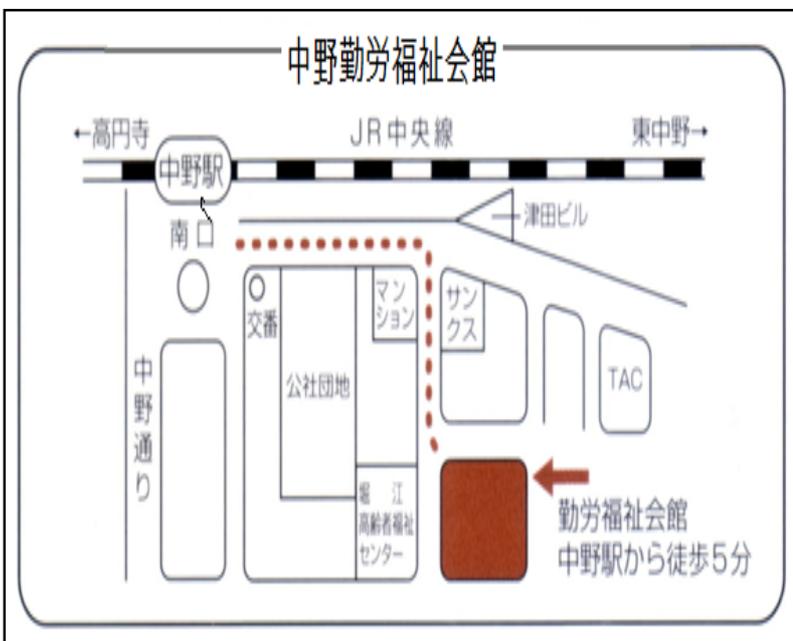
講師プロフィール

池宮城 紀夫 (いけみやぎ としお)

- 辺野古新基地反対弁護団・団長
- 一坪反戦地主会・代表世話人
- 弁護士

会場地図

JR中野駅南口から徒歩5分
中野勤労福祉会館3階大会議



『一坪反戦通信』定期購読のお願い。

沖縄の情報が満載。沖縄の基地の情報はもちろん、辺野古・高江の情報まで。前号の203号では、平良修さんの「一坪反戦地主裁判意見陳述」や辺野古で定期的におこなわれている「平和ツアー」の報告、辺野古派遣報告などを掲載しました。ぜひ、多くの方に定期購読をお願いします。

毎月1回、28日発行／一部200円／定期購読料：年2000円

郵便振替:00150-8-120796

※くわしくは、電話又は、メールでお問い合わせください。